

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基礎的な知識を確実に定着させるため、単元ごとに確認テストを行い、理解度を把握した。
- ・社会科に対する興味関心を高めるため、ICTや新聞記事などの教材を活用し、考えさせる時間を多く設け、学習内容に対する興味・関心を引き出す授業展開を目指した。

(2) 課題

- ・全学年習熟度の差が大きく、家庭学習の習慣化ができていないため、知識が定着していない。
- ・習得した知識・技能を活用し、自ら考えたり表現したりする力に課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	全ての観点に関して、区平均正答率を下回っている。特に、思考・判断・表現に課題が見られる。		
第2学年	全ての観点に関して、区平均正答率を下回っている。特に、知識・技能の観点に課題が見られる。	知識・技能に関しては、ばらつきはあるが、区平均正答率と差はない。しかし思考・判断・表現の数値は区平均正答率を下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	全ての観点に関して区平均正答率を下回っている。分野によっては区平均を上回っている項目もあり、授業改善の成果が見られる。	全ての観点に関して区平均正答率を下回っている。前年度と比べて全ての観点の数値が上昇しており、授業改善の成果が若干見られる。 (第2学年時)	全ての観点に関して区平均正答率を下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公民的分野や地理的分野においては、全国正答率と同等の値となっているものもある。一方で、歴史分野の古代から中世に課題が見られる。	複数の資料をもとに判断・表現する活動に課題が見られる。	区平均正答率を下回っており、授業をとおして地理的・歴史的関心を高めていく必要がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均正答率を下回っているが、歴史分野に関してはおおむね目標値に近い値である。一方、日本地理の分野には課題が見られる。	区平均正答率を下回っているが、どの分野においてもおおむね目標値に近い値となっている。	おおむね区平均正答率に近い値となっている。今後も社会的関心を高めていく必要がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均正答率を下回っているが、地理分野に関してはおおむね区平均正答率に近い値である。歴史分野の知識の定着を図っていく必要がある。	区平均正答率を下回っており、特に単語・文章記述の問題の正答率が全国平均正答率を大きく下回る傾向にある。	区平均正答率を下回っているが、分野による偏りがあり、地理分野においてはおおむね全国正答率に近い値となっている。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日頃から家庭学習の習慣の定着化を図るために、副教材のワークブックなどの反復学習にこれまで以上に頻繁に取り組ませ、基礎的・基本的な知識のさらなる定着に努める。	資料の読み取りのための時間を、授業内でさらに多めにとる。読み取った内容をワークシートにまとめさせるようにして、生徒の思考をさらに深める指導を進めていく。	単元の節目で、ふりかえりテストを実施して、学習の成果をふりかえる指導を進めていく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元ごとに小テストを実施し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。単元の終わりには振り返りを実施し、得た知識を活用する機会を設ける。	各小単元に応じた疑問を提示し、複数の資料から読み取れる予想や自分の考えを事前に記述させることで社会的事象を幅広く考察していく基盤を養う。また、自らの意見を伝え、他者の意見に触れる機会を充実させる。	元振り返りシートを活用し、第1時で「単元を貫く問い」を設定し、予想を立てさせることで見通しをもって取り組めるようにする。単元の終わりでは学習成果を振り返り、まとめる機会を設けていく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元ごとに小テストを実施し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。単元の終わりには振り返りを実施し、得た知識を活用する機会を設ける。	複数の資料から読み取った情報を組み合わせて考察する力を養う。毎授業でねらいを示し、それに対して自らの考えを表現する機会を充実させる。	単元振り返りシートを活用し、第1時で「単元を貫く問い」を設定し、予想を立てさせることで見通しをもって取り組めるようにする。単元の終わりでは学習成果を振り返り、まとめる機会を設けていく。